

感謝の思いを 伝える春の日

主な記事

**アイランド祭典
沼高生5人初訪問**

令和5年度 町の施政方針

主要事業紹介・町の予算

【表紙】 沼宮内小卒業式

沼宮内小卒業式は3月17日、同校の体育館で行われました。式典では6年生48人が保護者に卒業証書をしっかりと手渡し、感謝の言葉を述べる姿が見られました。



①岩手町の交流親善大使に任命された沼宮内高生5人と関係者
 ②市内レストランで食事を楽しみながら海外の食文化に触れた
 ③マウントテンブル総合学校で町の文化を紹介する沼宮内高生
 ④現地でホッケーの試合を観戦しホッケー協会理事と面会した



沼宮内高生徒 交流の架け橋に

期日	スケジュール
Day1	岩手町発→駐日アイルランド大使館を訪問 成田空港からカタール・ドーハへ
Day2	乗継便でアイルランド・ダブリンへ 在アイルランド日本国大使公邸を訪問
Day3	マウントテンブル総合学校の生徒と交流 アイルランドホッケー協会の理事に面会
Day4	セントパトリックスデーパレードを見学
Day5	ダブリン市内のトリニティ・カレッジや ダブリン城などを見学
Day6	乗継便でドーハ→成田空港へ
Day7	岩手町着



現地学生とセントパトリックスデーのパレードを見学する沼宮内高生



沼宮内高生5人を派遣
 沼宮内高の生徒5人は町とアイルランドの交流親善大使に任命され、3月14日から21日まで首都ダブリンを訪れ、現地の学生と交流を行いました。
 この事業は、現地の学生との交流を通じて、岩手町をアイルランドの皆さんに知ってもらうことを目的に、今回初めて実施。生徒はこれまで英会話教室や日本の文化を紹介する特別授業を通じて、交流の準備を進めてきました。
 5人は東京都の駐日アイルランド大使館を訪れ、ピーター・ニアリー副代表に面会。約20時間のフライトを経て、ダブリンにある在アイルランド日本国大使公邸を訪問しました。



スライドを上映し活動報告を行う沼宮内高の(左から)近藤吹樹さん、小沢一期さん、沢屋敷慧さん、岩崎祐也さん、田中希優さん

翌日には、マウントテンブル総合学校を訪問し、現地の学生に町や沼宮内高について英語で紹介。またホッケーやワークショップを通じて交流を行いました。滞在中には、セントパトリックスデーのパレードや、ダブリン城など名所を見学し、5人はアイルランドの文化について、理解を深めました。
 町アイルランドフェスティバルでは、訪問活動の報告が行われ、生徒代表の沢屋敷慧さん(2年)が「英語でコミュニケーションを取り、現地の友達をつくる目標を達成できなかった。普段の学校生活では体験できない貴重な経験を通じて、大きく成長できた」と充実した内容を伝えました。

アイルランドフェスティバル 2023



①軽快な音楽で来場者を魅了するアイリッシュバンドTRAD
 ②オープニングセレモニーで行われたセントパトリックスデーの行進
 ③記念写真パネルを楽しむ子ども
 ④石神の丘美術館のグリーンライトアップ
 ⑤レストラン石神の丘で提供されたアイリッシュギネスビール
 ⑥大町商店街を彩る緑色の旗飾り

アイルランドの祭典 緑一色に染まるまち

町アイルランドフェスティバル(同実行委員会主催)は3月25日、岩手広域交流センタープラザあいで行われました。このイベントは、東京五輪のホストタウン相手国アイルランドの祭典「セントパトリックスデー」にちなんで、同国の文化に親しむ機会として開かれました。
 当日は、沼宮内高生徒によるアイルランドの訪問交流発表が行われました。また、音楽ステージと題して、歌手でハープ奏者の奈加靖子さんによるアイリッシュハープの弾き語り、アイリッシュバンド「TRAD」の皆さんによる
 バイオリンやピアノの軽快な音楽が演奏され、来場者を魅了しました。
 このイベントに関連して、道の駅「石神の丘」ではアイルランドのお菓子やウイスキーなどの物産品を販売。レストラン石神の丘では期間限定メニューとして、ギネスビールを使ったビールフィッシュユールが提供され、訪れた人を楽しませました。なお石神の丘美術館では、3月17日から26日までグリーンライトアップが施され、大町商店街の街路灯には緑色の旗が飾られるなど、フェスティバルの開催を盛り上げました。



アイリッシュハープの美しい音色を奏でる奈加靖子さん

困難に立ち向かい、未来に向けて連携を深める—— 連携と未来に 向かって

町政を取り巻く環境

この3年間、新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活に、経済に、そして社会に大きなダメージを与えました。

飲食業をはじめとする地域経済への影響、医療体制への不安、子どもたちの学校生活など多くの課題が噴出しました。

また、昨年は国際情勢が不安定になり、エネルギーをはじめ、諸物価が高騰しました。また、町内では、8月には記録的な豪雨、長雨もあり、わが町の農業は大変厳しい影響を受けた年となりました。

生活支援を実施

このような難局にあっても、町民の生活を守ることを第一義とする自治体の責務として、昨年度に引き続き、子育て世代や生活困窮者に対する支援、中小事業者に対する支援など、本町

独自の支援策を講じてきました。農業への支援を実施

そして、町の基幹産業である農林畜産業のさらなる振興のため、特に中小規模農家の営農継続支援に意を用いてきました。

農業を取り巻く情勢が年々厳しさを増す中で、農業経営者が今後も意欲と希望をもって、生産活動に取り組み、農業・農村が有する多面的機能の維持が図られるよう各種施策を展開してきたところです。

SDGsの推進

一方、岩手町SDGs未来都市計画におきましては、この計画の柱の一つである姉妹都市提携事業が、国内外ともに大きく進展しつつあります。

私は本町を「若者に選ばれる町」にしたいと申し上げてまい

キーワードは「連携」

「わたしたちが創る 笑顔がいっぱい いわてまち」これは、令和3年度よりスタートした、岩手町総合計画に掲げた町の将来像であります。諸施策の推進に当たっては、対話の手法を用いながら、町民が一体となるよう和をもって臨み、この将来像の実現を目指します。



連携を深めるさいたま市SDGsツアー



対話を取り入れた町政を推進

また、国外では、本町とともにSDGsを推進する自治体との連携を模索してまいりました。今後とも、国内外の自治体との交流事業、あるいは連携、提携事業を進めてまいります。



町は次世代の未来を担う子どもたちのため地域に根ざした政策を推進します

私は、令和5年のキーワードを「連携」すなわち「つながり」としました。本町と関わりを持つ方々、企業や大学、あるいは他の自治体と、町の皆さん・地域・企業・行政などが相互につながり、世代を超えて地道な努力を続けることが大切です。そして、先人から受け継いだ素晴らしいこの「ふるさといわてまち」を次世代に継承するために、人と人とのつながりを大切にしながら、「地元学」の振興に努め、各分野の施策に取り組んでまいります。

7つの基本方針



わたしたちが創る
笑顔がいっぱい いわてまち

施政方針の全文は
町ホームページに掲載



1 住むひと・来るひとみんなで作るまち

- ・リビングラボの展開
- ・わたしたちが創るまちづくり補助金など支援
- ・広報いわてまちの充実
- ・SDGsツアーの実施
- ・地域おこし協力隊活動
- ・移住定住の促進



2 多彩な産業振興で未来を拓くまち

- ・地域特性を生かした「岩手町型農業」の振興
- ・農業経営の支援
- ・環境保全型農業の推進
- ・農業、林業の担い手確保
- ・道の駅「石神の丘」の集客
- ・観光振興で交流人口拡大



3 ひとと文化を大切にする教育のまち

- ・本年7月に開館30周年を迎える石神の丘美術館のさらなる魅力向上
- ・県外入学生の募集、下宿生活の整備、公営塾の開塾などを通じた沼宮内高の魅力化を推進



4 幸せと笑顔があふれる健康福祉のまち

- ・地域福祉の充実
- ・各種健診体制の充実
- ・「伴走型相談支援」など子育て支援の充実
- ・将来に向けた地域医療・在宅医療の体制づくり
- ・障がい者福祉の充実



5 安全で安心して住み続けられるまち

- ・関係機関と連携した消防、防災体制の強化
- ・学校などと一体となった交通、防犯体制の強化
- ・安心して通行できる道路環境の整備
- ・将来の経営を見据えた上下水道の整備
- ・今後の都市づくりの方向性を見据えたプラン策定



6 ひとと自然が共存する持続可能なまち

- ・町の美しい自然を次世代に継承するため、計画的なごみ処理を推進
- ・SDGsに貢献する省エネルギーの促進と再生可能エネルギーを効率的に活用



7 次世代につなぐ地域経営のまち

- ・町職員の資質と能力向上を目的に各種研修を実施
- ・町の財政健全化を推進
- ・施設の長寿命化や改修実施
- ・町有資産の活用と安全性の確保に努める
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）など情報化推進に努める



畜産振興事業

612万円

安定した畜産経営と農家の負担軽減を図るため、肉用繁殖雌牛の導入助成や、家畜敷料購入経費の助成などを行い、畜産農家を支援します。



野菜価格補完制度事業

1,500万円

系統出荷している生産者の安定出荷を図るため、生産者とJA、町が基金を造成し、キャベツやレタスの出荷額が交付基準額を下回った際に価格を補完します。



中小規模農家 営農継続支援事業

2,500万円

中小規模農家の経営基盤の安定と営農継続を図るため、品目ごとに資機材などの購入に対して支援を行います。



令和5年度 主要事業紹介

町づくりの基本構想にあわせて、令和5年度の主要事業を紹介します。

町の将来像

わたしたちが創る 笑顔がいっぱい いわてまち

7つの基本目標

- ①住むひと・来るひとみんなで創るまち
- ②多彩な産業振興で未来を拓くまち
- ③ひとと文化を大切にする教育のまち
- ④幸せと笑顔があふれる健康福祉のまち
- ⑤安全で安心して住み続けられるまち
- ⑥ひとと自然が共存する持続可能なまち
- ⑦次世代につなぐ地域経営のまち

わたしたちが創る まちづくり補助事業

244万円

地域の課題解決に向けて、創意工夫して取り組むまちづくり活動に補助を行い、未来へ向けた魅力的なまちづくりを目指します。



林業新規就業 総合支援事業

312万円

林業新規就業者の確保を目的に、移住を含めた林業の担い手に生活費や資機材導入費、研修費用などを支援します。



農畜産業新規就農 総合支援事業

1,595万円

農業を新しく始める新規就農者に①自営型、②雇成型、③親元型の3タイプに応じた支援を最長3年間行います。



出産・子育て応援事業

828万円

妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型の相談支援と、妊娠届出・出生届出時に各5万円相当の経済的支援を一体的に実施します。



産後ケアサポート事業

200万円

産後1年未満の母子に対し、医療機関でデイサービス型の産後ケアを行い、心身のケアや育児のサポートなどを行います。



在宅育児支援給付事業

168万円

保育所などを利用せずに子どもを養育する世帯のうち、一定の要件を満たす世帯に対して、子ども1人当たり月額1万円を給付し、経済的負担の軽減を図ります。



観光イベント等開催事業

389万円

夏まつり、秋まつりなどのイベント開催を支援し、交流人口増による町の活性化を図ります。



農地中間管理事業

4,690万円

農業の担い手への農地集積と集約化を促進します。農地の有効利用や農業経営の効率化を後押しするため、農地集積に対する地域や農業者への支援を行います。



耕畜連携総合推進事業

424万円

町の農業の特色である耕畜連携の維持発展に向け、耕畜連携堆肥と町産飼料用米の利用促進、資源循環システムの環境確保を図るために助成を行います。



地域おこし協力隊 活動事業

5,158万円

町外から人材を募集して、地域力の維持、強化を図るための担い手となる地域おこし協力隊を委嘱します。



地方創生事業

3,092万円

リビングラボの実施、起業・創業の支援、人材育成などに取り組み、持続可能なまちづくりを行います。



ふるさと納税寄付事業

3,845万円

ふるさと納税制度を活用して、地場産品の開発と全国に向けた町のPRを行います。



都市計画マスター プラン策定事業

447万円

都市計画道路の見直しや公園および住宅地の将来的な整備を見据え、都市計画マスタープランの策定に着手します。



道路改良事業

4億9,762万円

雪浦線、黒内線、沼宮内一方井線、北上線、大渡子九十線、川原木御岳線、野原滝線、五日市西線、石神下太田線、鍋屋橋線、細沢線などの道路改良事業を行います。



国民健康保険事業

14億3,793万円

国民健康保険は、加入者の皆さんが健康保険税を負担し合い、病院にかかるときの医療費に当てる支え合いの制度です。病院などで受診した医療費の7割を負担します。



高齢者等にやさしい 住まいづくり補助事業

120万円

在宅で援護が必要なお年寄りや重度障害のある人が、安心して生活できる住宅環境を整備するため住宅改善費用の一部を助成します。



沼宮内高校魅力化事業

2,027万円

沼宮内高等学校教育振興会への補助金や公営塾の運営、下宿生活や下宿場所などの環境整備の補助事業により、同校の魅力を高め、活性化を図ります。



学校施設整備事業

3億2,274万円

教育環境の安全確保のため、学校施設の補修や施設の維持保全を行います。沼宮内小の校舎（管理棟）改修工事などを実施する予定です。



ごみ処理事業

2億187万円

適正な処理によるごみの減量と資源化を進め、排出される家庭ごみを分類し、分別収集運搬を行います。また中間処理施設での焼却や資源化の処理費を負担します。



上水道施設整備事業

1億1,727万円

安全安心な水を届けるために、設備の点検や老朽化した施設の更新を行います。また、配水管調査を行い、漏水個所の早期発見や修繕に努めます。



医療費助成給付事業

6,718万円

子どもや妊産婦、障がい者などが安心して医療を受けられ、経済的な負担が軽減されるように医療費の自己負担額の一部を助成します。



介護予防事業

1,365万円

要介護状態になることを予防し、より長く在宅で生活できるように運動機能向上など介護予防教室や健康いきいきサロンなど、介護予防事業を実施します。



安心生活 ネットワーク事業

542万円

「安心生活あいネット事業」を展開し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境の確保を目指します。



歴史文化館整備事業

3,060万円

空き校舎を利用し、町の歴史と文化の情報発信や学びの場、活動発表の場として多くの人でにぎわう施設をめざし、歴史文化館（仮称）の整備を行います。



ICTまちづくり推進事業

60万円

令和2年4月以降に光回線に加入した町内の各世帯や事業者に、回線費用やICTに関連する機器を導入した際に、町から支援を行います。



高規格救急自動車 購入等事業

4,910万円

老朽化した盛岡中央消防署岩手分署の救急車両を更新するため、盛岡地区広域消防組合に対し、負担金を支出します。



精神保健事業

593万円

心の悩みを抱える人の相談やゲートキーパーの養成を継続し、自殺予防につなげます。また「町こころの健康づくり計画」を見直し、第2次計画を策定します。



障がい者地域生活支援事業

2,691万円

障がい者（児）が能力や適性に応じ、自立した日常生活ができるように相談支援や移動支援、地域活動支援センターの運営委託などを通じて支援を行います。



健康増進事業

4,557万円

病気の早期発見、早期治療を目指し検診体制の充実を図ります。また健康講座や保健指導、野菜摂取量測定など健康へ関心を持つきっかけとなる取り組みを行います。

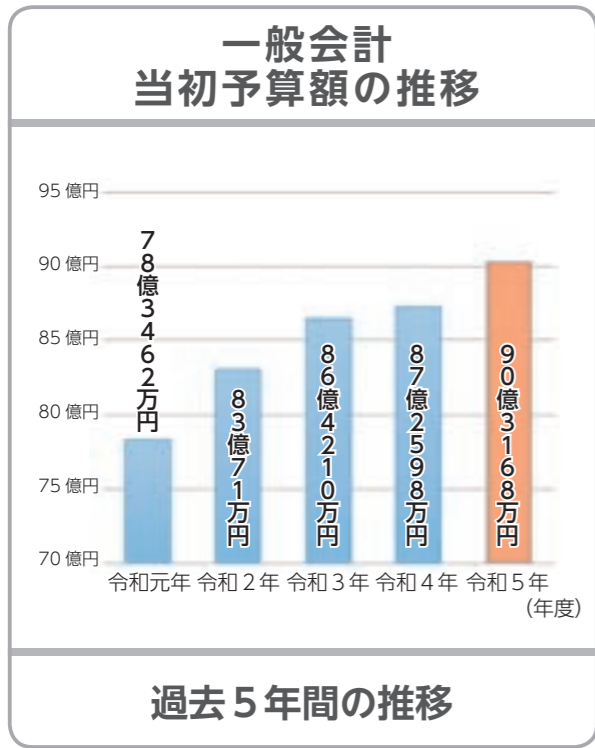


国際交流事業

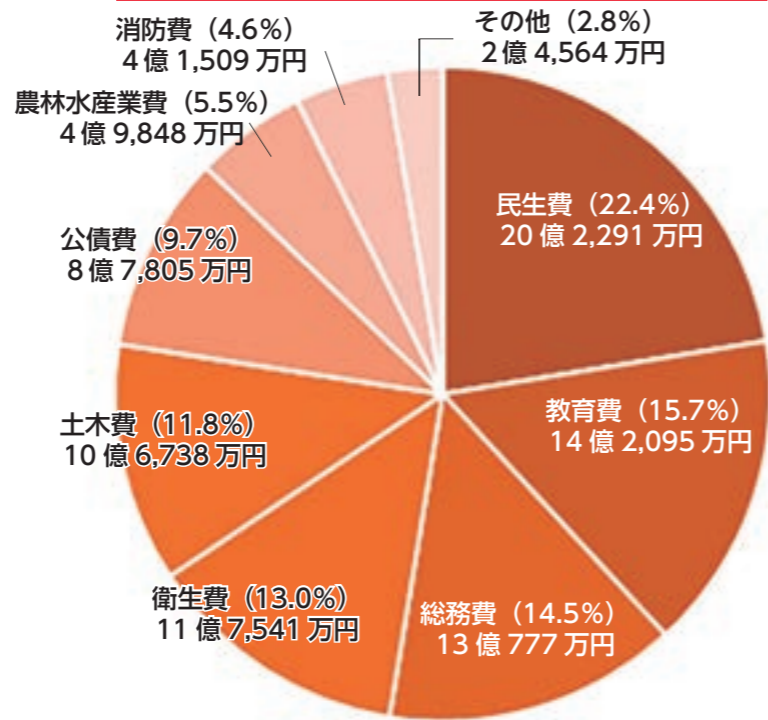
620万円

東京2020オリンピックで事前キャンプを行ったアイルランドとの交流事業を継続して取り組み、国際交流の推進を図ります。

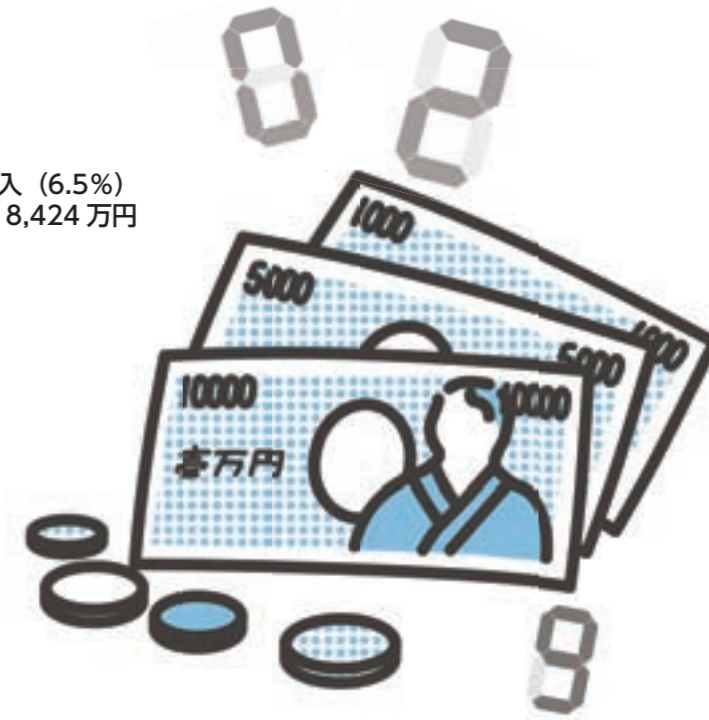
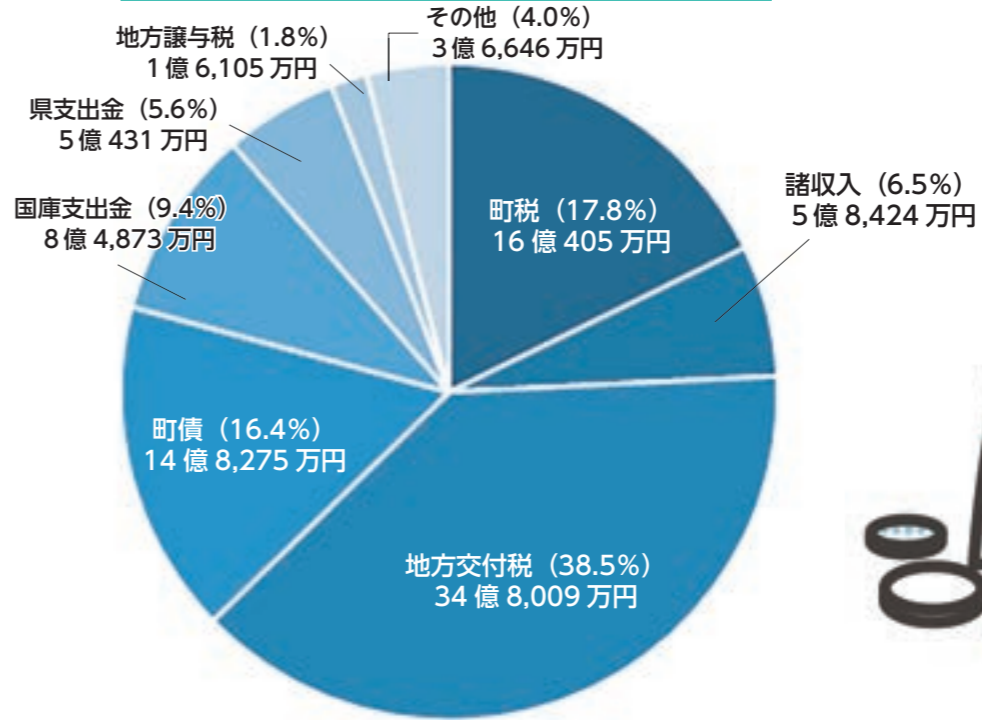




一般会計の歳出



一般会計の歳入



令和4年度 一般会計予算額
87億2,598万円

令和5年度 一般会計予算額
90億3,168万円

令和4年度から
3億570万円の増額 (一般会計)

令和5年度 岩手町の

総額 118億516万円に上る一般、特別両会計が第1回町議会定例会で、一部執行留保のうえ可決されました。令和5年度当初予算の概要を紹介します。
 (※予算額は万円未満四捨五入で表しています)

予算

町民1人当たりの歳出予算額

およそ **74万5,311円** ※人口12,118人(令和5年2月末現在)で算出

民生費	約16万6,934円	公債費	約7万2,458円
教育費	約11万7,259円	農林水産業費	約4万1,135円
総務費	約10万7,920円	消防費	約3万4,254円
衛生費	約9万6,997円	その他	約2万271円
土木費	約8万8,083円		

特別会計等予算

会計名	予算額	説明
特別会計		
国民健康保険特別会計	14億3,793万円	国民健康保険に係る予算を計上
後期高齢者医療特別会計	1億5,737万円	後期高齢者の医療に係る経費を計上
戸別浄化槽事業特別会計	5,379万円	戸別浄化槽の設置に係る経費を計上
企業会計		
下水道事業会計	6億2,310万円	下水道に係る経費を計上
水道事業会計	5億129万円	上水道に係る経費を計上
合計	27億7,348万円	特別会計等の合計

一般会計の総額は90億円
 一般会計は私たちの生活に最も身近な予算です。総額は歳入、歳出ともに90億3168万円、前年度を3億570万円(3.5%)上回っています。歳入は、その性質で自主財源と依存財源に分かれます。自主財源は、町税など町が独自で集めることができるものです。依存財源は、地方自治が適切に運用できるように国が各自治体に国税の一定割合を交付するお金(地方交付税)や、国や県などからの補助金、町の借入に当たる町債などです。自主財源の比率が大きいほど財政運営の自主性や安定性が高いとされていますが、当町の自主財源比率は、前年度を1.0%下回る24.3%で、依然として厳しい財政状況となっています。

民生費が歳出のトップ
 本年度の歳出は、住民福祉の向上に使われる民生費が20億2291万円、予算総額の22.4%を占め歳出のトップ。次に、教育委員会、小中学校や生涯学習活動に要する経費に使われる教育費が14億2095万円、全般的な管理事務に関する経費に使われる総務費が13億777万円などの順になっています。また性質別では、物件費、普

通建設事業費、人件費の順になっています。

特別会計等の総額は27億円
 特別会計等は、町が特定の事業を行うための一般会計とは別に収支経理を行う必要があるとくに設けられる会計です。町の特別会計等は国民健康保険、後期高齢者医療、戸別浄化槽、下水道事業、水道事業の5つ。本年度の特別会計等予算の総額は27億7348万円です。

町債の状況
 町債とは、公共施設の整備などのために国から特別に認められて調達できる借金のことです。一般会計における町債残高は、令和4年度決算では、91億6743万円となる見込みです。なお本年度の公債費(返済分)は8億7805万円、一般会計支出の9.7%を占めます。

本年度は、14億8275万円の町債が道路整備事業や学校施設整備事業などに活用されます。令和5年度当初予算に基づく当該年度末残高は、前年度予算からの繰り越し分を含めて97億9637万円になる見込みです。なお、特別会計等予算では、戸別浄化槽事業や下水道施設整備事業、上下水道施設整備事業で町債を活用しています。

令和5年度

町の職員人事異動



4月1日発令の町職員の人事異動をお知らせします。今回は延べ36人(新採用6人)が異動。6人が退職しました。主な人事異動と退職者は次のとおりです。※()内は前職

【総務課】

- ▽主査(長寿介護課長(兼)老人福祉センター所長(兼)水堀いきが交流センター所長(兼)地域包括支援センター所長) 本田桂一
- ▽主事補(新採用) 村山健介
- ▽岩手県派遣(総務課副主任) 瀬川潤
- ▽総務課付(町民課環境係長) 岩崎裕樹

【企画商工課】

- ▽課長(みらい創造課長補佐) 熊谷洋造
- ▽企画広報係長(町民課国保年金係長) 田屋千秋
- ▽主事補(新採用) 国枝可愛

【みらい創造課】

- ▽課長補佐(中央公民館長補佐兼地域推進係長兼図書館長補佐兼図書係長) 横沢晃子
- ▽主査(学校教育課主査) 田村寿

【町民課】

- ▽課長(併)岩手・玉山環境組合事務局長(企画商工課長) 竹花勇治
- ▽町民課長補佐(町民課長補佐兼戸籍住民係長) 西島佳苗子
- ▽町民課長補佐兼環境係長(健康福祉課長補佐) 久保栄司
- ▽戸籍住民係長(総務課主任) 四日市里美
- ▽国保年金係長(町民課主任) 高橋真友子
- ▽主事補(新採用) 岩館優希

【健康福祉課】

- ▽課長(兼)保健センター所長(岩手県) 千葉英之
- ▽健康福祉課長補佐(社会教育課長補佐) 高橋昭子
- ▽主査(議会議務局長(併)監査委員事務局長) 田村康志
- ▽副主任(社会教育課副主任) 山下真由
- ▽保健師(新採用) 高橋紀人

【長寿介護課】

- ▽課長(兼)老人福祉センター所長(兼)水堀いきが交流センター所長(兼)地域包括支援センター所長(町民課長(併)岩手・玉山環境組合事務局長) 高村伸男
- ▽主任(みらい創造課主任) 藤村友紀
- ▽盛岡北部行政事務組合(税務会計課主査) 柴田直樹

【税務会計課】

- ▽主任(学校教育課主任) 高橋さち子
- ▽主事(新採用) 柴田峻豪

【農林課】

- ▽課長(併)農業委員会事務局長(水道事業所長) 田中盛夫
- ▽課長補佐(農林課長補佐兼農村整備係長) 佐藤博光
- ▽農村整備係長(岩手県) 高橋大記
- ▽主任(盛岡北部行政事務組合) 佐々木隆史
- ▽主事(新採用) 澤聖斗

【建設課】

- ▽維持管理係長(税務会計課主査) 帷子晃弘
- ▽副主任(農林課副主任) 丸山稔

【水道事業所】

- ▽所長(水道事業所長補佐) 宮田誠
- ▽所長補佐兼上下水道係長(水道事業所上下水道係長) 岩崎朋之
- ▽主事補(町民課主事補) 畑山知加

【議会議務局・監査委員事務局】

- ▽議会議務局長(併)監査委員事務局長(農林課長(併)農業委員会事務局長) 八戸裕雄

【教育委員会事務局】

- ◇学校教育課
- ▽主査(農林課主査) 民部田政彦
- ◇社会教育課
- ▽社会教育課長補佐(企画商工課企画広報係長) 藤沢祐介

【中央公民館・図書館】

- ▽中央公民館館長補佐兼地域推進係長兼図書館長補佐兼図書係長(建設課維持管理係長) 志田順悦

【3月31日付け退職者】

- ▽本田桂一(長寿介護課長(兼)老人福祉センター所長(兼)水堀いきが交流センター所長(兼)地域包括支援センター所長)
- ▽田村康志(議会議務局長(併)監査委員事務局長)
- ▽高橋真樹(県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会、盛岡広域環境組合)
- ▽早坂真由美(健康福祉課主査)
- ▽笈口一美(建設課主査)
- ▽河野亜衣(長寿介護課副主任)



教育行政方針

変化の時代に対応する未来を拓くひとづくり

教育行政方針について、要点を紹介します。



学校教育の充実

確かな学び、豊かな学びの向上

- ▽「分かる授業」と「学習意欲向上につながる授業」の実践・改善
- ▽小学校の「外国語活動」や「外国語科」を円滑に推進
- ▽「GIGAスクール構想」に基づくICT教育の推進
- ▽「持続可能なまちづくり」の考えを取り入れた主体的・創造的に取り組む資質・能力の育成
- ▽いじめ防止対策推進法に基づいた「いじめの未然防止」を最優先に対応

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)

- ▽地域との「共創」による魅力ある学校づくり

子どもの安全確保

- ▽地域全体の「おはよう・おかえり8・3運動」
- ▽通学路安全点検による登下校時の安全確保
- ▽安全でおいしい給食の提供



学習環境の整備

- ▽沼宮内小の大規模改修、沼宮内中学校の屋内消火栓改修
- ▽令和10年開校予定の新設統合中学校校舎など、施設整備の計画的な推進

中学校部活動の地域移行

- ▽町体育協会と連携し、部活動の地域移行を順次推進

社会教育の充実、生涯スポーツの推進

学校を中心とした、地域全体で子どもたちを育てる体制づくり

- ▽各中学校区にコミュニティ・スクールを導入し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える活動ができるよう学校と連携・協働

生涯学習の推進

- ▽公民館などで、町の皆さんの学習ニーズや地域課題に応じた講座を提供
- ▽各世代が日常的にスポーツに親しむことができる環境づくりを推進
- ▽事業内容を検討し、誰もが参加しやすいイベントづくりを推進

各種競技スポーツの振興

- ▽魅力発信・普及活動に取り組み、競技人口の拡大と競技力向上を図る



文化・芸術の振興、国際交流推進

様々な文化活動への支援

- ▽多様な文化芸術の鑑賞機会を提供
- ▽文化芸術団体などの自主的活動を支援

町民に親しまれる石神の丘美術館の運営

- ▽石神の丘美術館開館30周年を記念した「三沢厚彦展」などの企画展を開催
- ▽花とアートの森では、多様な植栽で四季折々の表情を見せる工夫をしてさらなる魅力向上を図る

文化財の保護

- ▽指定文化財の適正な保護、その他文化財の調査
- ▽旧久保小学校を活用した歴史文化館の整備に向けた実施設計



- ▽郷土芸能など保存団体の発表機会の確保、後継者育成支援
- ▽国際交流の推進、文化学習
- ▽アイルランド関連イベントの開催などを通じて、国際的な視野を持ち活躍する次世代の育成や、さまざまな分野で交流の発展を目指す

「まち・ひと きらり」では、きらりと光る町の出来事や輝く人たちを紹介し、あなたの地域・職場での話題をお寄せください。

いつか
どこかで

My Dream

私の夢
No.402
僕の夢



角館 優空さん
(一方井小5年)

ラーメン屋になりたい

優空さんの将来の夢は、ラーメン屋さんになること。自分が大好きなラーメンの美味しさを世界中の皆さんに伝えたいそう。いつか3階建てのお店を開いて、岩手町をラーメンの町にしたいと語ります。そんな優空さんの好きなことは小学2年から友達と一緒に始めた野球。岩手野球スポ少でセンターや一塁手のポジションでレギュラーに着くなど、得意の守備に磨きをかけます。これから野球の試合で遠征に出掛けて、みんなでワイワイ遊ぶのが楽しみと話す一方、県大会で優勝して全国大会に出場したい！と目標を掲げます。



お子さんの紹介
なまえ(地区)
保護者から一言

1歳児健診に来てくれたお子さんの
かわいい笑顔を紹介します。



中居孝雄さんの孫
中居 良真くん(民部田)
優しく健康に育ってね。



佐藤徹さんの長男
佐藤 千隼くん(上町)
元気に健康に育ってね！



老松弘行さんの長男
老松 三十くん(籠)
いつも、ありがとう。

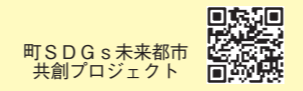


高森駿さんの次女
高森 愛依ちゃん(尾呂部)
すくすく健康に育ってね。



いわてまちSDG sライターに認定された
(左から)及川和幸さん、藤原寿子さん

SDG sライターを認定



町は3月30日、町のSDG s(持続可能な開発目標)の取り組みを広く町内外に伝えるSDG sライターを認定しました。認定されたのは、及川和幸さん(60)=盛岡市=、西田こずえさん(25)=柳橋=、藤原寿子さん(61)=横浜市=、熊谷直記さん=盛岡市=、高橋祐介さん=雫石町=の5人です。5人は町や町内企業などが行うSDG sの活動や取り組みについて記事を執筆し、町のSDG s未来都市共創プロジェクトのホームページで情報を発信します。佐々木光司町長は「広報やSNSのみならず、ライターの皆さんが情報を発信して、町の魅力向上につながるよう期待したい」と激励。沼宮内高で講師を務める及川さんは「町内の事業者や企業のSDG sの情報、町の魅力を発信して、若者の人材育成につなげたい」と抱負を語りました。

Topic 01
町の中高生世代の居場所に
「ミライト」が野口町に開館



①施設名称の「ミライト」には未来を開く若者を照らす光となる拠点になるよう思いが込められている
②いわてユースセンターの開館を祝う多数の来場者

中高生の自主的な活動や学習を支援する、いわてユースセンター・ミライトが野口町地区に整備され、その開館式は3月12日、関係者約60人が出席し、現地で行われました。ミライトは、陸前高田市ほか県内7市町で地域づくりの活動を行うNPO法人SETが運営。施設にはカフェやラウンジ、インターネット環境などが完備され、中高生の居場所として週3回開館します。また、自習スペースやミーティングルームもあり、今後はイベントやワークショップが開かれる予定です。式では、SETの三井俊介理事長が「新たな中高生の夢が生まれ、地域と一緒に育っていく場所になってほしい」と展望。佐々木光司町長は「町とユースセンターが連携して、地域を盛り上げていきたい」と祝辞を述べました。利用者がコミュニケーションを深め、町の活性化につながる場所として、期待されます。

Topic 02
男女共同参画フォーラムで
多様性を活かす枠組み紹介



オリジナル川柳を作成するワークショップで多様な考えを組み合わせる大切さを紹介する萩原なつ子さん

いわてまち男女共同参画フォーラムは2月26日、岩手広域交流センタープラザあいであ開かれました。当日は国立女性教育会館理事長の萩原なつ子さんが「もはや昭和ではない時代の男女共同参画のまちづくり」と題して、講演とワークショップを実施。フォーラムでは、まちづくりの先進事例がユニークな替え歌を交えて紹介され、来場者約80人が理解を深めました。萩原さんは「人口減少の問題を解決するためには、ダイバーシティ(多様性)の考えを基本として、いろいろな意見を組み合わせ、これまでの価値観や考えを一新する新たな枠組みを作ることが大切」と説きました。参加した久保良子さん(63)は「石神は『男女の枠にとらわれず、家庭でも一緒に家事を行う枠組みや意識が改めて大切と感じた』と話しました。

ゆ ○フットサル全国大会 ▼3月4日、5日 はずFCが全国ベスト16に

第12回日本フットサル施設連盟選手権U12クラス全国大会は3月4日と5日、和歌山県和歌山市で行われ、はずFCが全国ベスト16に入賞しました。同チームは予選リーグを通過し、続く決勝トーナメント1回戦でF.S.オーガネクト(関東4位)に惜しくも0-3で敗れました。順位決定戦では、ASフットボール(関西1位)に4-5で敗れたものの、続くTSA(関西2位)を3-3の同点で迎えたPK戦を5-4で下しました。高橋優心主将は「初の全国大会では、仲間と協力して試合に臨むことができた。全国のレベルを知ることができたので、次につなげていきたい」とさらなる飛躍を誓いました。



初の全国大会出場でベスト16に輝いたはずFCの皆さん



瑞花双鳳八稜鏡(右下)など並ぶ文化財展

町 ○石神の丘美術館 ▼3月4日~4月9日 の仏教文化を出土品で紹介

町の文化財や歴史に触れてもらうことを目的とした、第4回町文化財展「北緯40度の仏教文化」は3月4日から4月9日まで、石神の丘美術館で開かれました。同展では、平安時代に町に仏教が広まっていたことを示す螺髪しょうわつや小鱗口しょうりんくちなど出土品7点などを展示。特に目を引くのは、植物や鳥などが美しく装飾された「瑞花双鳳八稜鏡」と呼ばれる大森どじの沢小堂跡で発見された縦横約11寸の鏡です。この鏡は平安時代に造られ、当時の権力者が仏堂などに奉納したものと推測されています。

恒 ○町民スキー大会 ▼2月26日 例のスキー大会タイム競う

第67回町民スキー大会(町体育協会、町教委、町学体連主催)は2月26日、一戸町奥中山高原スキー場で行われました。当日は大回転競技と距離競技に総勢27人の選手が出場。選手は日頃から鍛えた練習の成果を発揮し、雪原でタイムを競い合いました。

- 【大会結果】
- ◆大回転競技(山彦コース)
 - ▽小学生女子 ①岩館瑞希(沼宮内小4年) ②遠藤美月(一方井小6年)
 - ▽小学生男子 ①佐藤幸智(川口小6年) ②齋藤輝(同小6年) ③佐藤太志(同小3年)
 - ▽一般男子 ①田中克弘(川口) ②岩館正之輔(沼宮内) ③下川原孝幸(同)
 - ◆距離競技(クロスカントリーコース、3キ㍉)
 - ▽一般女子 ①八幡花香(一方井) ②小野みらい(沼宮内中2年) ③福士結衣(同中1年)
 - ▽一般男子 ①佐々木玲緒(川口中2年) ②田中大地(一方井中1年) ③雛鶴孝太(同中1年)



巧みなコーナリングを見せる田中克弘選手



ゴール前の坂を力強く駆け上る選手

U ○ホッケードリームキャンプ ▼3月4日、5日 12日本代表が高い技術磨く

将来国際的に活躍する選手の発掘や育成を目指すU-12ホッケードリームキャンプは昨年12月3日、4日京都府京丹波町で行われ、町内から11人の選手が参加しました。同キャンプでは元2020東京五輪日本代表などによる指導が行われ、選手は体幹トレーニングや技術の高いパス練習などを2日間実施。その後、3月4日、5日にはベスト30に選考された選手のオールスター戦が行われ、佐藤利生選手、小沢縁選手、白旗璃々選手が出場。3選手は積極的にゴールに向かうプレーを展開しました。



オールスター戦でコートを全力を駆け抜けボールを追う
①小沢縁選手②佐藤利生選手③白旗璃々選手

地 ○あいネット ▼3月2日 域が行う生活支援事例紹介

町あいネット生活支援フォーラムは3月2日、岩手広域交流センター「プラザあい」で開催されました。同フォーラムでは、豊岡自治振興会の生活支援あいネット事例発表が行われ、北構政美会長が地区の単身高齢者を対象に、自宅や生活道路の除雪や草刈りなどの支援を行う、生活支援隊の活動を紹介。北構会長は「高齢化が進んで大変な部分もあるが、地域を守るために活動を続けていきたい」と力を込めました。また、住民主体で行う移動支援について講演が行われ、参加した70人は熱心に耳を傾けました。



豊岡地区事例を紹介する北構政美会長



模擬投票を通じて選挙に理解を深める生徒

模 ○沼宮内高 ▼3月10日 擬投票で選挙の理解深める

県明るい選挙推進協議会は3月10日、沼宮内高(菊池省治校長、生徒92人)の2年生30人に選挙の啓発授業を行いました。この授業は、選挙権年齢の18歳を迎える2年生に選挙の関心を高めてもらおうと、県と町の選挙管理委員会が実施。授業では、選挙制度の歴史や種類、投票方法などについて解説し、生徒が実際の選挙で使われる投票用紙などを用いた模擬体験を通じ、投開票の流れを学びました。また生徒は若者の低投票率の課題についても考え、選挙制度について理解を深めました。



ロコモ予防体操を紹介する千葉療法士

健 ○川口公民館「高齢者学級」 ▼3月8日 康寿命を延ばす体操を学ぶ

川口公民館(高橋健悦分館長)は3月8日、交流を通じて、体力づくりの関心を高めようと高齢者学級「ふれあい交遊会」を開催しました。参加者17人は基礎体力の測定後、ケアホーム川口の千葉正毅作業療法士を講師に、健康寿命を延ばすロコモ予防体操を実施。千葉療法士は「できることを毎日継続することが大切」と話し、下肢の筋力向上と、腰や膝を動かしやすい運動を紹介しました。工藤リチ子さん(79)=橋場=は「冬は運動ができなかったもので、参加して良かった」と笑顔で話しました。

問い合わせは、町健康福祉課福祉支援係 ☎ 62 - 2111 (内線512、514)へ



休日当番医 【受付時間】 9:00～17:00

日(曜)	町内当番医	近隣当番医
4月		
2(日)	なし	八角病院
9(日)	北上脳神経外科クリニック	
16(日)	さわやかクリニック	
23(日)	佐藤整形外科クリニック	八幡平市立病院
29(土)	岩手沼宮内クリニック	
30(日)	沼宮内地域医療センター	八幡平市立病院
5月		
3(水)	佐々木医院	八幡平市立病院
4(木)	なし	八角病院
5(金)	佐渡医院	
7(日)	さわやかクリニック	八幡平市立病院

※4月2日(日)、5月4日(木)は町内当番医がありませんので、近隣当番医をご利用ください。

当番医実施医療機関の電話番号

岩手沼宮内クリニック	☎61-2025
北上脳神経外科クリニック	☎61-3636
佐々木医院	☎62-2234
佐藤整形外科クリニック	☎68-7240
佐渡医院	☎62-3211
さわやかクリニック	☎62-2043
沼宮内地域診療センター	☎62-2511

近隣当番医の電話番号

八角病院(盛岡市)	☎019-682-0201
八幡平市立病院	☎76-3111

県立中央病院附属

沼宮内地域診療センター

診療科	診療日	受付時間
内科	月～金曜日	8:30～11:30
外科		
応援診療科(4月)		
脳神経外科	11日	12:30～14:30
循環器(内科)	3、7、10、14、17、21、24、28	
小児科	14、28日	13:00～16:00
皮膚科	4、11、18、25日	13:00～15:30
整形外科	21日	8:30～11:00

※休日当番医、応援診療科は予定を変更する場合がありますので、あらかじめ電話で確認の上、来院ください。

子どもが急病のとき

こども救急相談電話・こども夜間ケアダイヤル

子どもの病気、事故の対処や、応急処置を相談できる夜間の電話窓口です。

- ・子ども救急相談電話 午後7時～午後11時
 - ・子ども夜間ケアダイヤル 午後11時～翌朝8時
- 【電話番号(どちらの時間帯も共通、年中無休)】
☎019-605-9000 または局番なしの#8000
※ダイヤル式回線電話、IP電話、PHSからは☎019-605-9000

診療時間外の受診

- 軽い病気と思われる場合、休日の日中は休日当番医を利用ください。夜間は平日、休日問わず夜間急患診療所をご利用ください。
▽盛岡市夜間急患診療所 受付時間：午後7時～11時 (盛岡市神明町3-29 盛岡市保健所2階 ☎019-654-1080) 受診できる人は、なるべく日中の診療時間内に受診しましょう。
- 症状が重い場合

【受診場所】 小児救急入院受入当番病院(下記予定表のとおり)
【対象】 症状が重く入院が必要と思われる子どもと、盛岡市夜間急患診療所や休日当番医が診療していない時間帯の急病の子どもを受け入れます。夜間は午後5時から翌朝9時までです。

日	月	火	水	木	金	土
						4/1 中央
2 国立	3 日赤	4 中央	5 国立	6 中央	7 国立	8 日赤
9 中央	10 日赤	11 中央	12 国立	13 中央	14 日赤	15 国立
16 中央	17 日赤	18 中央	19 国立	20 中央	21 日赤	22 中央
23 日赤	24 中央	25 日赤	26 国立	27 中央	28 国立	29 日赤
30 中央	5/1 中央	2 日赤	3 国立	4 中央	5 日赤	6 中央

QRコードからも当番病院を確認できます



【受付時間】 土曜は午後1時～5時、夜間は午後5時～翌朝9時
【注意点】 日中の診療時間に受診できる人は、時間内に受診してください。また、重症な子どもの治療に支障をきたさないよう、まずは盛岡市夜間急患診療所を受診しましょう。
日曜、祝日の日中は休日当番医を受診してください。

当番病院の連絡先

- 【中央】 県立中央病院 ☎019-653-1151
- 【日赤】 盛岡赤十字病院 ☎019-637-3111
- 【国立】 国立病院盛岡医療センター ☎019-647-2195

一人で悩まず相談ください

- 岩手町 こころの相談** 【開催日】 5月16日(火) (年6回開催)
精神科の医師に個別で、心の悩みを相談できます。
【時間】 午後2時～4時(完全予約制)
【場所】 町保健センター
▶予約窓口：健康福祉課 ☎62-2111(内線556)
- 町傾聴ボランティア「おひさまサロン」** 【開催日】 4月10日、4月24日、5月8日
毎月第2、第4月曜日(祝日の場合翌日)
【時間】 午後1時～3時
【場所】 プラザあい1階 ☎019-622-6955(午前9時～午後6時)
※予約不要です。日頃の思いを話してみませんか?
- ▶健康福祉課 ☎62-2111(内線564)
- ▶盛岡いのちの電話 ☎019-654-7575(正午～午後9時、日曜日のみ午後6時まで) ▶県精神保健福祉センター ☎019-622-6955(午前9時～午後6時)
- ▶男女共同参画センター相談室 ☎019-606-1762
家族、職場の悩み、交際相手や性別、性的指向(LGBT)に関する悩みなどの相談を受け付けています。

ご存知ですか?

補装具費の支給制度

購入や修理などに助成

補装具の支給制度は、身体障害者(身体障害者手帳所持者、難病患者)を対象とした補装具の購入や修理、借受に対する助成制度です。
この助成制度は、障害者総合支援法に基づいて行われています。

負担額は原則1割

利用者負担額は、原則1割です。(ただし、世帯状況に応じて上限額があります)

【所得区分と負担上限月額】

所得区分	世帯範囲	上限月額
生活保護	生活保護世帯	0円
低所得	住民税非課税世帯	0円
一般	住民税課税世帯	37,200円

※世帯の範囲は、対象者が18歳以上の場合は「本人及び配偶者」、18歳未満の場合は原則として「本人と父母及び住民票上の世帯全員」です。
※各補装具ごとに定められた基準額を超えた部分は利用者負担となります。

【障害種別ごとの補装具種目】

障害種別	補装具の種目
視覚障害	眼鏡、義眼、視覚障害者安全つえなど
聴覚障害	補聴器
音声・言語障害	重度障害者用意思伝達装置
肢体不自由	義手、義足、装具、座位保持装置、車いす、電動車いす、歩行器、歩行補助つえなど(18歳未満の児童のみ) 座位保持いす、起立保持具、頭部保持具、排便補助具
内部障害	車いす、電動車いす

申請に必要なもの

- ① 申請書
- ② 身体障害者手帳
または特定疾患医療受給者証
診断書などの疾病名が確認できる資料
- ③ 補装具費支給意見書
- ④ 業者の見積書
- ⑤ 印鑑
- ⑥ マイナンバーの分かるもの

この制度を利用するためには、町健康福祉課福祉支援係(役場1階⑥番窓口)に事前申請を行う必要があり、申請時には、①申請書、②身体障害者手帳、③業者の見積書などが必要。
なお、補装具の種類によっては、県福祉総合相談センターの来所判定、または書類判定が必要な場合があります。また、申請時の必要書類が変わる場合もありますので、制度利用を希望する人は担当窓口までご相談ください。



申請は町健康福祉課へ

福祉タクシー助成券

在宅の重度障害者にタクシー助成券を交付

問 町健康福祉課福祉支援係(役場1階⑥番窓口)

☎62-2111(内線512、514)

町は、在宅で重度の障害があり、次の条件にあてはまる人にタクシーの助成券を交付しています。

【対象者】

町内に住所があり、身体障害者手帳1級、2級または療育手帳A判定、精神障害者保健福祉手帳の障害等級が1級の人

※施設や特別支援学校の寄宿寮に入所・入寮している人、軽自動車税または自動車税の減免を受けている人は対象外です。

【利用できるタクシー会社】

有限会社 沼宮内タクシー

【助成内容】

1カ月に4枚の割合で申請月から年度末までの分を一括交付します。

※1枚当たりの助成額は初乗り運賃の額となります。

【申請方法】

身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳と印鑑を持参し、町健康福祉課福祉支援係(役場1階⑥番窓口)で申請してください。

岩手町の関係人口を増やす

～いわてまちAチームを始動します～

町の地域おこし協力隊が毎月、岩手町の魅力をお伝えします。



この冬は石彫ガイドブックを片手に、石彫作品の散策を行いました

こんにちは。徐々に暖かい日が増え、過ごしやすくなってきました。寒さに慣れるにはもう少し時間が必要ですが、この冬はガイドブックを片手に雪景色の中の、石彫作品の散策にはまりました。

突然ですが、「関係人口」という言葉を聞いたことがありますか？岩手町SDGs未来都市共創プロジェクトの関連でときどき登場するので、耳にしたことがある方もいるかもしれません。内閣府では「特定の地域に継続的に多様な形でかかわる人のこと、観光以上移住未満」などと表現しています。

関係人口の例を挙げると、観光や通勤・通学などで町を訪れる人が、町の魅力に気がついて、何度も訪れ

るリピーターになったり、第2のふるさととして将来は町に住んでみたいと考える人などが、これに当たります。

この関係人口を増やすことを目標の1つとして「いわてまちAチーム」という活動を4月からスタートします。まずは町のいいところや、困っていること、こんなことができたらいいなと思うことをお聞かせください。昔のお話も大歓迎です。それを元に楽しい企画や、困っていることのお手伝いなどを町内外の皆さんと一緒にこれから進めていく予定です。

今後いろいろなお目見えすることになると思いますが、どうぞよろしくをお願いします！

Vol. 61

地域おこし協力隊の

こびる KOBIRU

じかん



KOBIRUじかんの「こびる」とは、「農作業の合間の休憩、軽食」の意味。農作業の休憩時間に、気軽に読んでほしいと思いを込めたコーナーです。

今月は、上村が担当します。

町のSNSフォローをお願いします！



図書館だより

開館時間 午前9時～午後6時

町立図書館 ☎62-2877

新着図書



18歳までに知っておきたい選挙・国民投票Q&A



世界一わかりやすい！インボイス



猫のためのDIY家づくり



朝つめるだけ！たんぱく質のお弁当378

ジャンル	書名	著者
小説	あなたはここにいないとも	町田 そのこ
	逆転のバラッド	宇佐美 まこと
	野火の夜	望月 諒子
	猛き朝日	天野 純希
エッセイ	黄色い家	川上 未映子
	私のものではない国で	温 又柔
児童絵本	好きになってしまいました。	三浦 しをん
	明日も一日きみを見てる	角田 光代
	みんなのいちねん	たけうち ちひろ
	聴導犬ふく 家族ができた！	鈴木 びんこ
児童読み物	ONE WORLD たったひとつの地球	ジェニ・デズモンド
	おふろはいつてらっしゃい	とよた かずひこ
児童実用書	ねむいねむい	西村 敏雄
	科学探偵 VS.超・自然現象 後編	佐東 みどりほか
児童実用書	大陸移動の大研究	吉田 晶樹 監修
	イチからつくる コーラ	コーラ・小林 編

4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
						6

赤マスの日は休館日です。
4月18日～21日は蔵書点検のため休館します。

図書館の行事

- ◆本のこうかん市
4月1日(土)～30日(日)
- ◆チビッコ映画館(小学生向け)
4月13日(木)、27日(木)
午後3時～
- ◆おはなし会(小学校就学前の親子)
4月23日(日) 午前11時～
ボランティア「おはなし☆きらきら」の皆さんが読み聞かせをします。

まちの文芸

短歌

きららぎの暮の淡雪里山は水墨画のごと
朝日に光る
愛木タエ子

霞たち木の芽に春の雪降れば開き初めた
る花芽を閉つる
伊藤 一陽

雨水すぎ歩む人なき坂道のなだりの土は
心なごます
岩館 カツ

まんさくの小さなつぼみ色づきて空に向
かひて開花ととのふ
昆野 功夫

さまざまな形の樹氷間近にて森吉山に夫
はよろこぶ
瀬川 浩美

会話なき老人たちの生活は生きる気力を
何より得るか
橋本 智代

休み田の土混りなる捨て雪は二月終りの
陽光を浴ぶ
山口 國男

俳句

マスク取る孫の笑顔やひな祭
伊藤 一陽

大方は荒れてばかりの二月尽く
遠藤 金作

開拓の栄枯盛衰春の夢
遠藤 初枝

回覧板雪解凍をかひくぐり
昆野 功夫

白魚や回転寿司に美肌映え
志田 悦朗

持ち寄りの菓子も華やぐ雑句会
向井 梅子

店頭的水果寄せたる雑節
山口 國男

川柳

題詠「嘘」

土橋はつお 選

ことわりの電話の中に嘘が見え
佐藤 小草

子の為うそもうのみす親心
久慈 正和

うそをつく杵はあつても白はない
馬淵 草

嘘を言うことも重たい死期の事
鍋倉るみこ

プーチンの嘘に慣れても戦には
山口 國男

夢語り人生全て嘘になる
自 句

2月受け付け分

●お婿さん、お嫁さん● 2組 (2組)

日	お名前	世帯主	行政区
1	佐々木 勇人 宮崎 杏奈	宮崎孝一 孝一	一本柳 一本柳
20	今松 一貴 玉木 愛優菜	一広 和則	今松 下愛宕下

●生まれたお子さん● 5人 (6人)

▼1月

日	お名前	保護者	行政区
23	晝澤 陽佳	義樹	上五日市
25	早野 洋成	信人	上野口町

▼2月

日	お名前	保護者	行政区
8	千葉 湊志朗	雄大	横田
19	工藤 美羽	俊拓	横田
21	西舘 菜由	隆臣	笈の口

●亡くなられた人● 10人 (17人)

▼2月

日	お名前 (年齢)	世帯主	行政区
2	中澤 有司 (80)	本人	新愛宕下
3	今松 礼子 (63)	忠重	今松
5	樋口 正志 (78)	順一	上苗代沢
5	佐藤 ミツエ (94)	本人	新愛宕下
10	遠藤 キヌ (97)	本人	一方井
12	山中 イサミ (92)	武志	曲り
17	大下 松三 (88)	スミ	大坊
22	齋藤 新一 (81)	ヨウ子	下五日市
23	久保 鉄雄 (74)	本人	久保
24	葉木澤 明夫 (62)	ゆり子	橋場

組数、人数の()内は実数です。
町内に住所がある人で、広報に掲載を希望する人のみ掲載しています。掲載希望の有無は、届け出の際に役場町民課にお話しください。

人口の動き

令和5年2月28日現在

人口	12,118人	前月比 (- 5)
世帯数	5,381世帯	(+ 4)
男	5,946人	(- 2)
女	6,172人	(- 3)

▼出生6人 ▼死亡17人 ▼外国人住民130人
▼転入19人 ▼転出13人

4月 町民カレンダー

日(曜)	時間	行事	場所
		岩手町文化財展 北緯40度の仏教文化 (～4月9日)	石神の丘美術館
6 (木)	13:30～	沼宮内中入学式	沼宮内中
	14:00～	一方井中入学式	一方井中
7 (金)	10:00～	沼宮内小、川口小入学式	各小学校
	13:15～	川口中入学式	川口中
8 (土)	10:00～	一方井小入学式	一方井小
19 (水)	10:00～	盛岡年金事務所出張相談 (要予約:盛岡年金事務所 ☎019-623-6211)	ゆはず交流館
		福祉のしごと出張相談会 (相談無料)	ハローワーク 沼宮内
20 (木)	8:30～	まんまと湯っこの会	老人福祉センター
	9:00～	人権・行政相談	沼宮内公民館
22 (土)	10:30～	書のよろこび 沢村澄子展 (～6月4日)	石神の丘美術館
25 (火)	9:30～	離乳食教室	町保健センター
26 (水)	13:00～	6カ月児健康診査 (令和4年10月生まれ) 9カ月児健康診査 (令和4年7月生まれ) 1歳児健康診査 (令和4年4月生まれ)	町保健センター
27 (木)	10:00～	子育てサロン “すくすく”	町保健センター
	9:00～	第43回IBCホッケー大会 (中学校の部) (～30日)	町ホッケー場
29 (土)	11:00～	食育食堂 どんぐり山 (小学生以下無料) (要予約:代表くまがい ☎090-4734-2832)	五日市 生活改善センター

◆ 町税などの納付期限 ◆

固定資産税 (1期)	5月1日 (月) 口座振替日: 4月25日(火)
------------	-----------------------------

5月

いわてまち 次号は5月11日(木)発行予定

本紙は原則毎月第1木曜日に発行していますが、次号は大型連休のため、5月11日(木)の発行となります。ご了承ください。

日(曜)	時間	行事	場所
3 (水)	9:00～	第43回IBC杯ホッケー大会 (高校の部) (～5日)	町ホッケー場

※広報掲載後に予定が変更になる場合もありますが、そのときは、町ホームページや回覧などでお知らせします。なお、町内の団体などもこの欄をご利用ください。

プレゼント付き広報クイズ

「図書カード (500円分)」を抽選で2人にプレゼント!

【問題】

「いわてまちユースセンター」の名称は何でしょうか?

クイズの答えと広報紙へのご意見や感想を添えて、ご応募ください!

■応募資格/町内にお住まいの人 (1人1通) ※5月2日 (火) 期限

※個人情報記載内容の確認、プレゼント発送のために利用し、この目的以外には使用しません。



▶QRコードから
ご応募ください!

情報

インデックス

岩手町役場

☎62-2111

問 問い合わせ先
申 申し込み先
✉ メールアドレス

野焼きに注意

■盛岡中央消防署岩手分署

空気が乾燥し、山火事が多発しやすい季節を迎えます。5月31日まで山火事予防運動期間です。次のことに注意し、山火事の予防に努めましょう。

▼枯れ草など火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと

▼たき火など火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること

▼強風時および乾燥時にはたき火や火入れをしないこと

▼火入れを行うときは許可を必ず受けること

問 盛岡中央消防署岩手分署

☎62-6119

国民年金学生納付特例

■盛岡年金事務所

学生で本人の所得が一定以下の場合、国民年金保険料の納付を猶予できる制度があります。申請は役場町民課またはお近くの年金事務所です。

問 盛岡年金事務所国民年金課

☎019-623-6211



沼宮内高の魅力、生徒の様子を紹介します!
タイトル画 下平佑さん(卒業生)

Vol.19

観光冊子の掲載募集

■県盛岡広域振興局

県盛岡広域振興局では、鹿角・盛岡広域エリアを対象とした特典付き小冊子・観光パスポートに掲載する店舗を募集します。

【対象】 飲食店、観光関連施設

【掲載条件】 利用客への特典 (割引やプレゼント) などの提供

【実施期間】 7月15日～11月6日

【申込期限】 5月10日 (水)

問 盛岡タウン情報誌「アキュート編集部」

☎019-651-2722

相続登記が義務化

■盛岡地方法務局

相続登記がされないことなどにより、不動産登記簿から所有者が直ちに判明しない土地が多数生じ、道路整備事業などに支障をきたしています。

これを受け、令和6年4月から、相続登記が義務化されることとなりました。詳しくは法務省のホームページをご覧ください。

問 盛岡地方法務局登記部門

☎019-624-9851

3年生40人が卒業迎える

卒業式が3月1日、体育館で行われ、それぞれの進路へ進む3年生40人に菊池省治校長から卒業証書が手渡されました。前生徒会長の早坂優希菜さんは「体育祭や文化祭では、新型コロナウイルスの感染対策を行いながら全員で盛り上がった。この学び舎で個性豊かな仲間と、たくさんの学びと絆を得ることができた。支えてくださった先生や保護者の皆さん、ありがとうございました」と高校生活を振り返り、感謝の思いを述べました。



答辞を述べる早坂優希菜さん

SDGs
 未来都市の
 まち



岩手町SDGs
 未来都市共創
 プロジェクト




交流会では車のレースゲームやリズムゲームでコミュニケーションを深める参加者の姿が見られました

世代間のeスポーツ交流



eスポーツ体験を通じて世代間で交流を深めようと、eスポーツ交流会は3月22日、水堀公民館で行われました。eスポーツは「エレクトロニック・スポーツ」の略で、コンピューターゲームをスポーツの1つとして競うもので、日本の競技人口はおよそ360万人といわれています。

当日は、地元の小中学生や老人クラブ会員など21人が参加。㈱NTT東日本岩手支社の協力の下、参加者は2チームに分かれ、車のレースやリズムゲームでタイムや得点を競い合いました。特にレースゲームでは白熱した試合が展開され、互いのチームを応援しあう参加者の姿が見られました。

体験後には、町婦人団体連絡協議会の皆さんが、町で採れた肉や野菜を使ったカレーライスや、果物のデザートを提供。さまざまな世代や職種の参加者が親睦を深める、充実した交流会となりました。



eスポーツ体験後に昼食を囲む参加者と関係者の皆さん

この交流会は、地域や世代間の交流を育み、町の皆さんが健康で幸せを感じられることを目指すリビングラボの「健幸ラボ」の一環で行われました。人と人が交流し社会的なつながりを持ったり、生きがいや楽しみを持つことは、健康で暮らすうえで大きな役割を担っています。町はこれからも将来像「わたしたちが創る 笑顔がいっぱい いわてまち」の実現に向けてリビングラボを進めていきます。

おさんぼしませんか
〈花とアート〉の森
春の花



【ご注意】
 野外エリアのメンテナンスと館内企画ギャラリー展示替えのため、4月10日(月)~21日(金)は、全館休館します。春の花は4月下旬からお楽しみいただけます。

石神の丘美術館
 石神の丘美術館
 石神の丘美術館
 お問い合わせ
 TEL: 62-1453

広報いわてまちは、『記者ハンドブック新聞用字用語集第14版』に基づいて記事を作成しています。原則、よるこびかなしみコーナー以外は常用漢字を使用しています。氏名などを掲載する場合も、常用漢字での掲載となります。ご理解をよろしく願いたします。

3月はアイルランドの伝統的なお祭り「セントパトリックスデー」にちなんで、町アイルランドフェスティバルが行われました。沼宮内高生5人が初めて町との親善大使となって、アイルランドへ派遣。堂々と交流の成果を発表してくれました。滞在中は、現地の学生から生徒の誕生日を歌やプレゼントで祝われたそうです。ほほえましいですね。

セントパトリックスデーは3月17日。5世紀にアイルランドで初めてキリスト教を広めた、司教の聖パトリックの命日が由来となっています。この日は緑色の帽子やアイテムを身に着けると幸せになれるという言い伝えがあり、当日私も緑のハンカチを持ち歩いていました。しかし残念なことに全く何も起きません。果たして、幸せはやって来るのでしょうか...?(中村)

編集後記